

中村そう一郎

鎌倉市議会議員(4期目)



昭和38年7月1日 鎌倉生まれ
 鎌倉市立山崎小学校・玉縄中学校卒業
 神奈川県立鎌倉高校(柔道部在籍)・駒沢大学法学部法律学科卒業後、
 鎌倉信用金庫(現湘南信用金庫)を経て、
 平成13年鎌倉市議会議員選挙初当選4期連続当選
 副議長 監査委員 特別委員長など歴任
 平成25年鎌倉市議会第60代議長就任
 公益社団法人鎌倉青年会議所シニアクラブ元会長
 一般社団法人 茶道裏千家淡交会 鎌倉支部常任幹事
 かまくら環境会議 元代表
 NPO法人鎌倉市市民活動センター運営会議元副理事長
 ボイスカウト鎌倉第5団 副団委員長
 鎌倉大船ロータリークラブ 会長



【対談】あさお慶一郎×中村そう一郎 「鎌倉の未来のために心豊かな社会づくりを」

【あさお慶一郎(以下 浅尾)】中村さんの政治信条でもある心豊かな社会づくりについて少しお話を聞かせてください。

【中村そう一郎(以下 中村)】20世紀が物質的な豊かさを享受していたのに対し、21世紀は精神的な豊かさが大切になると16年前初めての鎌倉市議会議員になるときに申し上げてきました。ここにきて、人口減少社会や高齢化社会を迎えているなかで、まちづくりにさらに必要な要素だと思います。

【浅尾】確かに経済成長が伸び悩むなかで、震災等への対応など従来の経済的豊かさと異なる価値観が求められる社会になってきていますね。

【中村】絆という言葉が多用され、まさに精神的なつながりが地域の発展にも欠かせなくなってきました。

【浅尾】以前、「幸福度」ということばも使われましたが、中村さんの政策では幸福度の向上に何か視点を持っているのでしょうか？

【中村】そもそも自治体は住民の幸福の向上を目的として存在しているといえます。今、幸福度という指標を表すことばが出ましたが、市民の方々がどのように実感されているのかが参考になると思います。鎌倉は地域的な魅力においては、多くの方がその歴史性・文化性において実感があると思いますが、それ以外の分野については、人それぞれによって、評価が変わってくると思います。

【浅尾】確かに、例えば健康の実感や子供の成長の実感などは、それぞれの状態によって、幸福度が変わりますね。

【中村】その他にも、生活の安定や安全・安心の実感、地域とのつながりの実感などありますが、新しい課題として、下流老人やこどもの貧困なども深刻になってきました。

【浅尾】私も国の政策として、貧困の連鎖を断ち切ることや高齢者の就労支援などによって格差をなくしていくことが、必要だと感じています。

国際的にも格差のない社会で育った人間は公平にものを考えられると思います。これは平和な世界を築くうえでも大切なことだと思っています。

【中村】アメリカのアイダホ州のポカテロ市に笑顔条例というのがあるそうです。笑顔週間には協力が求められ、違反者(怒ったりしている人)は逮捕されてしまうそうです。

1948年に制定され、いまだに逮捕者はいないようですが、今では、笑顔が観光資源にもなっているそうです。鎌倉市の職員も多くは人のために何かをしたいという思いを持って職に就いたと思いますが、いつしかその思いが希薄になっているかもしれません。議員も職員も自分たちの働き次第で、住民が幸せになる。住民が幸せになれば、自分たちも幸せになるという意識付けが必要になってきていると思います。

(次号へ続く)





市政報告 ～鎌倉市政におけるこれまでの取り組みをご報告いたします。

■ 鎌倉の魅力を活かしたまちづくり

歴史的風致維持向上計画の推進
歴史文化交流センターの開設

■ 教育環境の整備

小中学校の冷房設備の設置・トイレの改修
中学校給食の開始

■ 防災・減災の充実

公衆無線LANなどを使った情報通信手段の整備
消防団の装備などの改善

■ 交通政策

湘南モノレールのバリアフリー化
駐輪場の需要対応

■ 産業振興

プレミアム商品券の発行
漁業者の就労環境改善



新設された大船中学校



大船駅西口駐輪場



湘南モノレール




中村そう一郎 これからの取り組み

安全安心のまちづくり



津波対策・交通危険個所の整備
防犯カメラの設置助成

児童・生徒


子ども会館・子どもの家の整備
小中学校の施設整備 

行財政改革

歳入確保の推進
職員の意識改革



地域経済の活性化


大船・深沢地域整備
中小企業の創業支援 

子育て支援



待機児童の解消
相談事業の推進
小児医療費の拡充

福祉介護

障がい者の就労支援
高齢者の雇用促進
ICTを活用した健康管理 

地域課題の解決



市民自治の活性化
地域のつながりの充実

廃棄物の安定処理



新炉建設に向けた検討
ごみの資源化・減量化

皆さまのご意見などをお知らせ下さい。

ご連絡先 鎌倉市台3-3-19-1001
Tel 0467-44-1936
E-mail soichiro@mvh.biglobe.ne.jp

中村そう一郎 公式WEBサイト
nakamuraso.com

中村そう一郎

検索

